



ロイチョウドゥーリ ジョイ

北インド出身

インドヨーガとくにベンガル語のマントラヨーガなどの指導者であり、インドにおいて日本語学校の講師の経験があり日本人以上に日本語の読み書きが上手である。

1987年に超禅ヨーガに入門。成城本部道場にて修行する。

インド料理の研究者としても活躍している。

現在、邦子夫人と3人の子供とともに日本で暮らしている。

山口超禅先生に出会ったのは、1987年の夏のことでした。

とても偶然な出来事の一つだと今でも不思議に思います。

当時、私も世田谷の喜多見に住んでおり、休みの日に街中をブラブラ歩いていたら超禅先生のヨーガ道場の看板に目が留まり、勝手に電話してすぐさま先生にお会いすることができました。

そこで、本格的なマントラヨーガからハタヨーガ、ラージャヨーガ、武道、東洋医学、音楽、さらに私の母国の言語であるサンスクリット語に至るまでその知識の深さや、広さ、ヒマラヤほどの高大さを身につけていらっしゃる先生を知り頭が下がりました。

インドでも本物のヨーガの指導者を探すことは大変なことなのに日本で真の本格的ヨーガの指導者に出会えたことは幸せなことでした。

あれほど博学でパワフルな先生なのにご自分の自慢話など一切なさらず、やさしさと人を愛する姿、懐の広さに感動しました。

初めてお会いした時から今日まで日本で暮らす私の精神的な支えとなってくださり、尊敬してやまない正に師匠です。

超禅先生のますますのグローバルなご活躍を心からお祈りしております。

ロイチョウドゥーリ ジョイ



チョウドゥーリ氏のファミリーと
成城本部道場にて



喜多見道場で
ウクレレの練習をするチョウドゥーリ氏